

エリアデザイン調査特別委員会 請願・陳情説明資料

令和6年7月5日

件名	頁
1 5 受理番号 23 綾瀬小学校内の「わくわくにこにこ図書」を真に地域に開放された場所にするため旧こども家庭支援センター跡地施設内に移設拡充させることを求める陳情・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 受理番号 7 京成関屋・東武牛田駅周辺地域の街づくりに関する請願・・・・・・・・	7

(政策経営部)

件名	5 受理番号 23 綾瀬小学校内の「わくわくにこにこ図書」を真に地域に開放された場所にするため旧こども家庭支援センター跡地施設内に移設拡充させることを求める陳情
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 総務部 資産活用担当課、生涯学習支援室 中央図書館 学校運営部 青少年課
陳情の要旨	図書館機能を含む、多世代が集う交流施設が地域おこしの核となっている昨今、旧こども家庭支援センター跡地施設にはその役割が期待されています。そこに「図書の森」を移設し、誰でもいつでも利用できるように拡充してください。
陳情者等	請願文書表のとおり
内容及び経過	<p>1 これまでの陳情等の経緯</p> <p>(1) 生涯学習館・放送大学東京第三学習センター等移転に伴う跡地利用対策に関する要望書</p> <p>ア 提出者 生涯学習館等移転に伴う跡地利用対策綾瀬地区検討委員会（委員長 大室徳三氏）</p> <p>イ 提出先 足立区長 吉田万三</p> <p>ウ 提出日 平成9年2月20日付</p> <p>エ 要望内容</p> <p>(ア) 地区中核図書館</p> <p>(イ) 多目的な大ホール</p> <p>(ウ) 在宅介護支援センター</p> <p>(エ) 大会議室、和室、喫茶コーナー、展示室等</p> <p>(オ) 駐車場は地下に建設すること</p> <p>(カ) 建て方は、複合施設建設とし、階層化とすること</p> <p>(キ) 現存の区民事務所等の拡張化を図ること</p> <p>(ク) 交通広場の存続化は望ましくない</p> <p>(2) 旧足立区こども家庭支援センター跡地施設に関する陳情</p> <p>ア 提出者 足立区子育て支援ボランティア連絡会</p> <p>イ 提出日 平成26年5月20日</p> <p>ウ 議決結果 審議未了</p> <p>エ 要望内容</p> <p>(ア) こどもが本と出会う場所の整備</p> <p>(イ) 150人程度収容可能な多目的な貸出施設の整備</p> <p>(3) 旧足立区こども家庭支援センター跡地施設に関する陳情</p> <p>ア 提出者 足立区子育て支援ボランティア連絡会</p> <p>イ 提出日 平成27年6月15日</p> <p>ウ 議決結果 撤回承認（平成30年12月5日）</p>

エ 要望内容

(ア) こどもが本と出会う場所の整備

(イ) 150人程度収容可能な多目的な貸出施設の整備

(4) 綾瀬エリアデザイン計画の見直しを進め、区民の集える施設及び綾瀬地区の一体的な事業計画を求める請願

ア 提出者 誇れる綾瀬エリアを目指す会

イ 提出日 平成27年9月9日

ウ 議決結果 採択（平成27年10月23日）

エ 要望内容

(ア) 綾瀬エリアデザイン計画を見直すこと。

(イ) 計画見直しに当たっては、綾瀬小学校の建替えや駅前開発を含む地域全体を網羅した計画にすること。

(ウ) 綾瀬地域において、区民が集える施設（バンケットホール付ホテルなど）誘致を検討すること。

(エ) 計画の見直し及び事業の実施にあたっては、地域住民の要望の把握に努め、説明会等をきめ細かく実施すること。

(5) 綾瀬地区を文化的に環境整備することを求める陳情

ア 提出者 足立区子育て支援ボランティア連絡会 外27名

イ 提出日 平成30年12月14日

ウ 議決結果 審議未了

エ 要望内容

(ア) こどもが本と出会う場所の整備

(イ) 150人程度収容可能な多目的な施設の整備

(ウ) 「綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会」において綾瀬地区を文化的に環境整備することを審議すること。

(6) 綾瀬地区を文化的に環境整備することを求める陳情

ア 提出者 足立区子育て支援ボランティア連絡会 外27名

イ 提出日 令和元年10月11日

ウ 議決結果 審議未了

エ 要望内容

(ア) こどもが本と出会う場所の整備

(イ) 150人程度収容可能な多目的な施設の整備

(ウ) 「綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会」において綾瀬地区を文化的に環境整備することを審議すること。

2 綾瀬小学校「わくわく にこにこ 図書森」について

「こどもが本と出会う場所」として、綾瀬小学校地域開放型図書室「わくわく にこにこ 図書森」（以下、「図書森」という。）を令和4年7月から開設している。

(1) 利用対象者

小学生、乳幼児とその保護者（区内に在住・在学・在勤の方、その他当区が認めている近隣地区【22区、草加市、八潮市、川口市】に居住している方）

※ 保護者の入室は、小学生または乳幼児と同伴のときのみ。

(2) 開設日

ア 土曜日・日曜日・祝日（土曜授業、学校行事がある日は除く）

イ 夏休み・春休み期間で学校行事がない平日

ウ 令和6年度の開設日数は計121日を予定（アとイの合計）

(3) 開設時間

午前9時から午後5時まで

(4) 利用可能なサービス

ア 図書の閲覧・貸出・返却（学校図書館の本は貸出不可）

イ 受託事業者及びボランティアによるおはなし会

※ 1日2回午前と午後に開催。ボランティアによるおはなし会は毎月2回午前に開催。

ウ 子どもが楽しめる玩具等（知育玩具、折り紙、万華鏡）

(5) 図書について

図書森の利用者は綾瀬小学校の図書資料を、綾瀬小学校の児童は図書森の図書資料を閲覧できるようにすることで、各々の図書資料の有効活用を図っている。

ア 蔵書数

(ア) 図書森所蔵の図書資料

児童書や絵本、大型本を中心に3,422冊（令和6年8月1日現在）

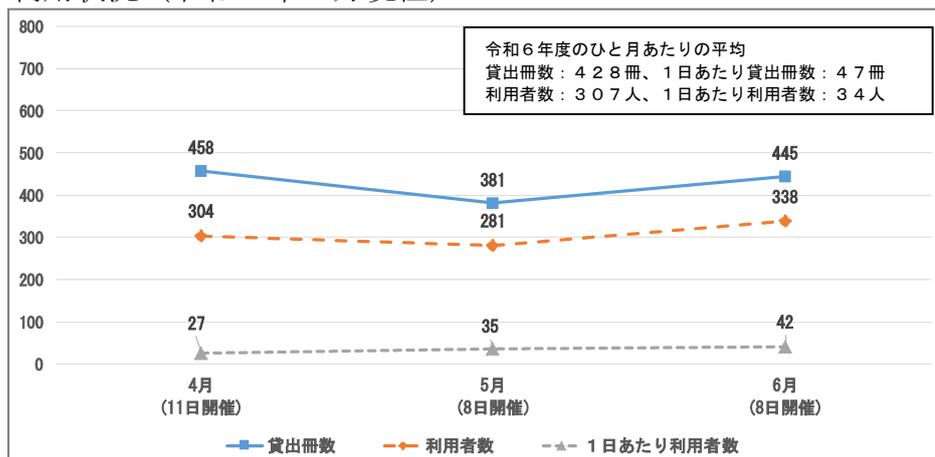
(イ) 学校図書館所蔵の図書資料

約21,003冊（令和6年4月1日現在）

イ 配架について

図書の配架には、移動可能なブックトラックを使用することで、平日の学校図書館としての利用時やイベント時のレイアウト変更に対応出来るようにしている。

(6) 利用状況（令和6年6月現在）



【参考】令和5年度のひと月あたりの平均

貸出冊数：463冊、1日あたり貸出冊数：48冊
利用者数：356人、1日あたり利用者数：37人

3 旧足立区こども家庭支援センター等跡地の状況について

(1) 平成25年度（組織統合）

旧こども家庭支援センターは、平成25年度に教育相談センターと組織統合され、「こども支援センターげんき」として西新井に移転した。

(2) 平成26年11月

旧こども家庭支援センター施設については、老朽化に伴い公共施設の更新を含む本用地の活用について、民間手法を活用した公募プロポーザルを実施し、優先交渉権者の選定を行った。

(3) 平成27年7月

綾瀬駅前開発の動向や事業提案による既存周辺施設への影響を鑑み、上記(2)の事業を凍結することとした。

(4) 平成28年8月

跡地の活用について公共施設の更新計画を踏まえて、その暫定利用計画を策定した。

綾瀬駅周辺の増加する児童数に対応するため、綾瀬小学校（令和3年度末まで）と東綾瀬中学校（令和4年度から）の仮設校舎設置用地として暫定利用している。

(5) 令和5年7月

暫定利用後の活用について、仮移転していた「保健センター」「区民事務所」「子育てサロン」の公共施設に加え、地域からの要望の高い「講堂（ホール）」を跡地に集約して整備する方針であることを、令和5年7月5日エリアデザイン調査特別委員会にて報告した。

(6) 令和6年4月

旧こども家庭支援センター等の跡地活用については、民間活用の可能性を確認するために、令和6年秋にサウンディング型市場調査を実施し、事業手法の検討を行ったうえで、令和7年度にプロポーザル方

式での事業者公募を予定している。

なお、跡地にある東綾瀬中学校の仮設校舎については、令和7年1月から令和9年3月まで東湊江小学校の仮設校舎として利用する予定である。

そのため、綾瀬ゾーンエリアデザイン計画の核となる旧こども家庭支援センター等跡地の事業化については、概ね令和9年以降に延伸となる。

件名	受理番号7 京成関屋・東武牛田駅周辺地域の街づくりに関する請願																
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 都市建設部 交通対策課 千住地区まちづくり担当部 千住地区まちづくり担当課																
請願の要旨	<p>1 千住地域のエリアデザイン計画において、京成関屋・東武牛田駅周辺地域の街づくりについて広域的な視点からビジョンを示すこと。</p> <p>2 千住大川端地区の開発に伴い、2000戸以上の住宅建設が予定されている。こうした状況下において、京成関屋・東武牛田駅周辺地域の街づくりについて広域的な視点からビジョンが示された後に、一体的な街づくりの可能性について検討を進めることを求める。</p> <p>3 千住大川端地区開発に伴う駅利用者増加の影響を鑑み、京成関屋・東武牛田駅及び駅周辺の環境整備を各鉄道会社に足立区として強く求める。</p>																
請願者等	請願文書表のとおり																
紹介議員名	渡辺 ひであき議員、いいくら 昭二議員、山中 ちえ子議員 中島 こういちろう議員、土屋 のりこ議員																
内容及び経過	<p>1 千住エリアデザイン基礎調査業務委託プロポーザルの実施について</p> <p>千住エリアデザイン計画策定に向けて、令和6年度から7年度にかけて実施する基礎調査の事業者選定を公募型プロポーザル方式で進めている。</p> <p>(1) 目的</p> <p>都内有数の交通の要衝かつ足立区随一の繁華街である千住エリアは、様々な事業者による開発が個々に計画されており、適切な誘導が求められている。今後、産学官民が連携してまちづくりを推進していけるよう、千住の位置付けや価値、特徴を調査分析するとともに、計画策定手法について検討する。</p> <p>(2) 募集経過</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年6月18日</td> <td>第1回選定委員会開催（募集要件等決定）</td> </tr> <tr> <td>6月21日</td> <td>公募開始（7月4日まで）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 今後の予定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年 7月</td> <td>第2回選定委員会開催（提案書提出者選定）</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>第3回選定委員会開催（提案書特定）</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>随意契約締結</td> </tr> <tr> <td>令和8年 3月</td> <td>基礎調査終了</td> </tr> </tbody> </table>	年月	内容	令和6年6月18日	第1回選定委員会開催（募集要件等決定）	6月21日	公募開始（7月4日まで）	年月	内容	令和6年 7月	第2回選定委員会開催（提案書提出者選定）	9月	第3回選定委員会開催（提案書特定）	10月	随意契約締結	令和8年 3月	基礎調査終了
年月	内容																
令和6年6月18日	第1回選定委員会開催（募集要件等決定）																
6月21日	公募開始（7月4日まで）																
年月	内容																
令和6年 7月	第2回選定委員会開催（提案書提出者選定）																
9月	第3回選定委員会開催（提案書特定）																
10月	随意契約締結																
令和8年 3月	基礎調査終了																

2 京成関屋、東武牛田駅周辺地域の街づくりについて

当該地を含む周辺地域では住宅市街地総合整備事業を導入し、以下のとおり、まちづくりが進められてきた。

(1) 千住大川端地区住宅市街地総合整備事業について

京成関屋、東武牛田駅周辺を含む約47.3haにおいて、工場跡地等の土地利用転換の適切な誘導を行い、良質な住宅の建設を推進するとともに、活気に満ち、安全かつ快適で景観に配慮した魅力ある住宅地を整備することを目的として導入（平成6年3月大臣承認）。住宅整備と併せて、道路、公園、スーパー堤防等の整備を実施する。

(2) 開発経緯

当地区において、主要工区としてA、B、Cの3工区を設定し、住宅整備が進められてきた（各工区および整備済の住宅の位置は別紙1参照 P11）。

番号	年 月	内 容	工区
①	平成11年 4月	都営千住関屋町アパートが竣工 (157 戸)	A工区
②	平成12年 4月	コスモシティ北千住が竣工 (234 戸)	A工区
③	平成15年 1月	コスモ北千住ロイヤルフォルムが 竣工 (98 戸)	B工区
④	平成20年12月	ヴィークステージ北千住が竣工 (231 戸)	B工区
⑤	平成21年 2月	イニシア千住曙町が竣工 (515 戸)	C工区
⑥	平成26年 4月	サングランデ千住曙町が竣工 (44 戸)	C工区

(3) B工区関屋駅付近広場について（別紙2参照 P12）

B工区内には関屋駅付近広場が下記のとおり都市計画決定されているが、区域内に鉄道駅舎が含まれていることなどの課題が多く、長年、未整備のままである。

ア 名 称：関屋駅付近（広場 1号）

イ 告示日：昭和22年11月26日

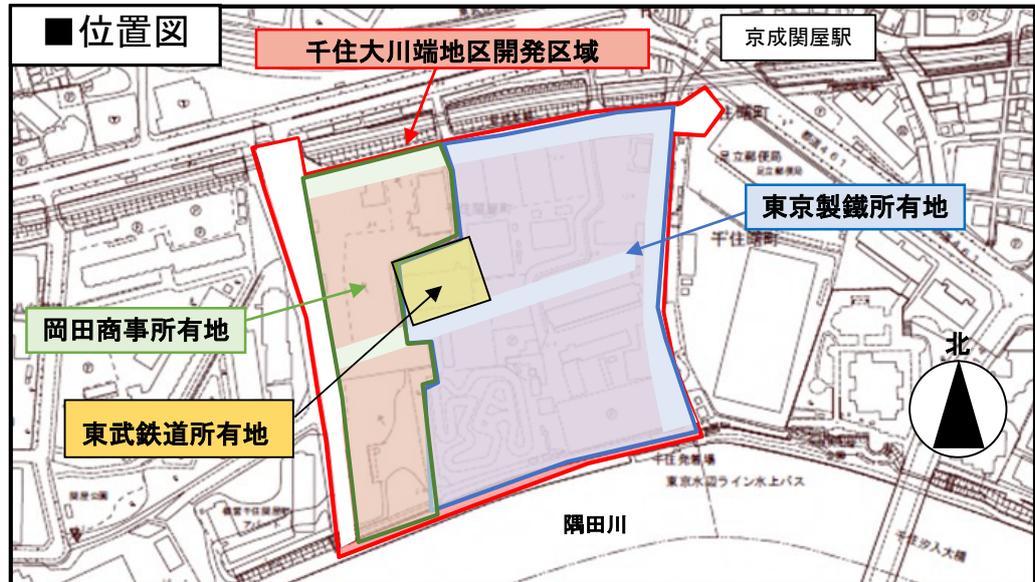
ウ 告示番号：戦災復興院告示 第128号

エ 面 積：2,360㎡

(4) 千住大川端地区開発区域について

ア 開発の目的、現状

隅田川沿川の工場跡地等(約4.3ha)の土地利用転換の適切な誘導により、隅田川スーパー堤防整備と合わせて住宅市街地総合整備事業を活用して良質な住宅建設を行うことを目的としている。地権者3者(東京製鐵、岡田商事、東武鉄道)が約2,100戸の住宅を中心とした複合的なまちづくりを2期に分けて実施予定。



イ 計画概要(別紙3参照 P13)

第1期開発 住宅 約940戸、商業施設、子育て支援施設等
(令和9年~10年度竣工予定)

第2期開発 住宅 約1,160戸、子育て支援施設等
(令和14年度竣工予定)

ウ 開発スケジュール(予定)

年 月	内 容
令和5年 6月	東京製鐵敷地内の建物解体工事開始
令和5年 12月	地区まちづくり計画説明会の開催
令和6年 3月	地区まちづくり計画策定
令和6年度	再開発等促進区を定める地区計画の都市計画変更に向けた手続き
令和7年度	第1期開発の工事着手
令和9年~10年度	第1期開発の工事竣工
令和11年度	第2期開発の工事着工
令和14年度	第2期開発の工事竣工

3 京成関屋、東武牛田駅及び駅周辺環境整備について

(1) 踏切対策勉強会

ア 目的

足立区内における踏切について、歩行者・自転車の安全で快適な踏切交通を確保すべく、踏切の短期対策の検討を行うことを目的としている。

イ 勉強会の構成（令和5年9月時点）

東武鉄道株式会社関連部課 4名

足立区都市建設部 16名

ウ これまでの主な対策内容

踏切の安全対策に関する鉄道事業者との意見交換を踏まえ、非常停止ボタンの増設や踏切両側路側帯カラー化工事、白線及び歩道カラー舗装の再標示など安全対策工事を行っているほか、啓発活動として安全のぼり旗の掲出・交通安全運動啓発グッズの配布、非常停止ボタン操作体験会なども行っている。

エ 過年度勉強会実施回数

平成19年～平成30年 計33回実施

オ 近年の勉強会実施状況

令和元年 9月 5日（木）【令和元年度 第1回】

令和2年 3月19日（金）【令和元年度 第2回】

令和2年11月18日（水）【令和2年度 第1回】

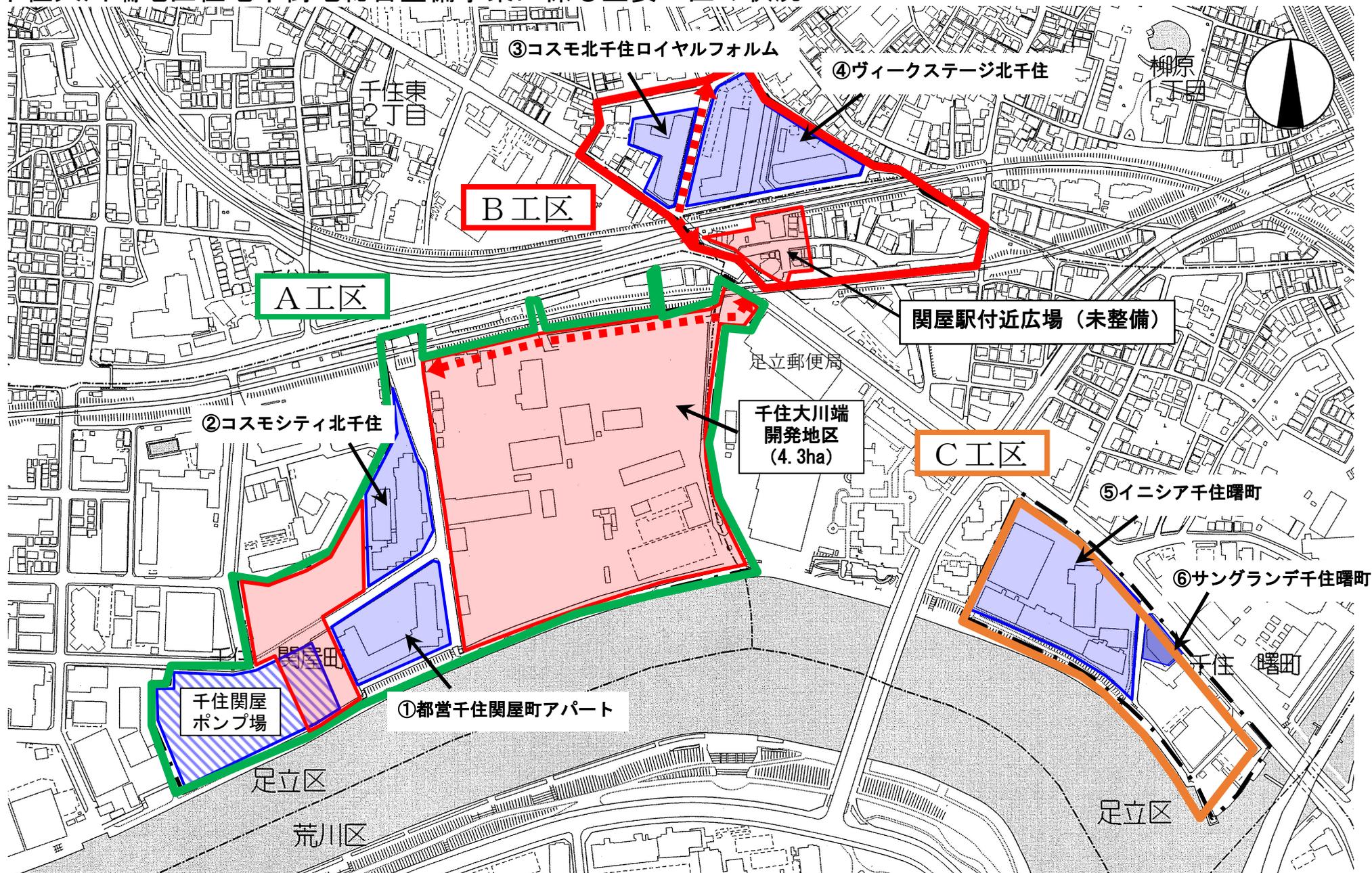
令和3年 3月19日（金）【令和2年度 第2回】

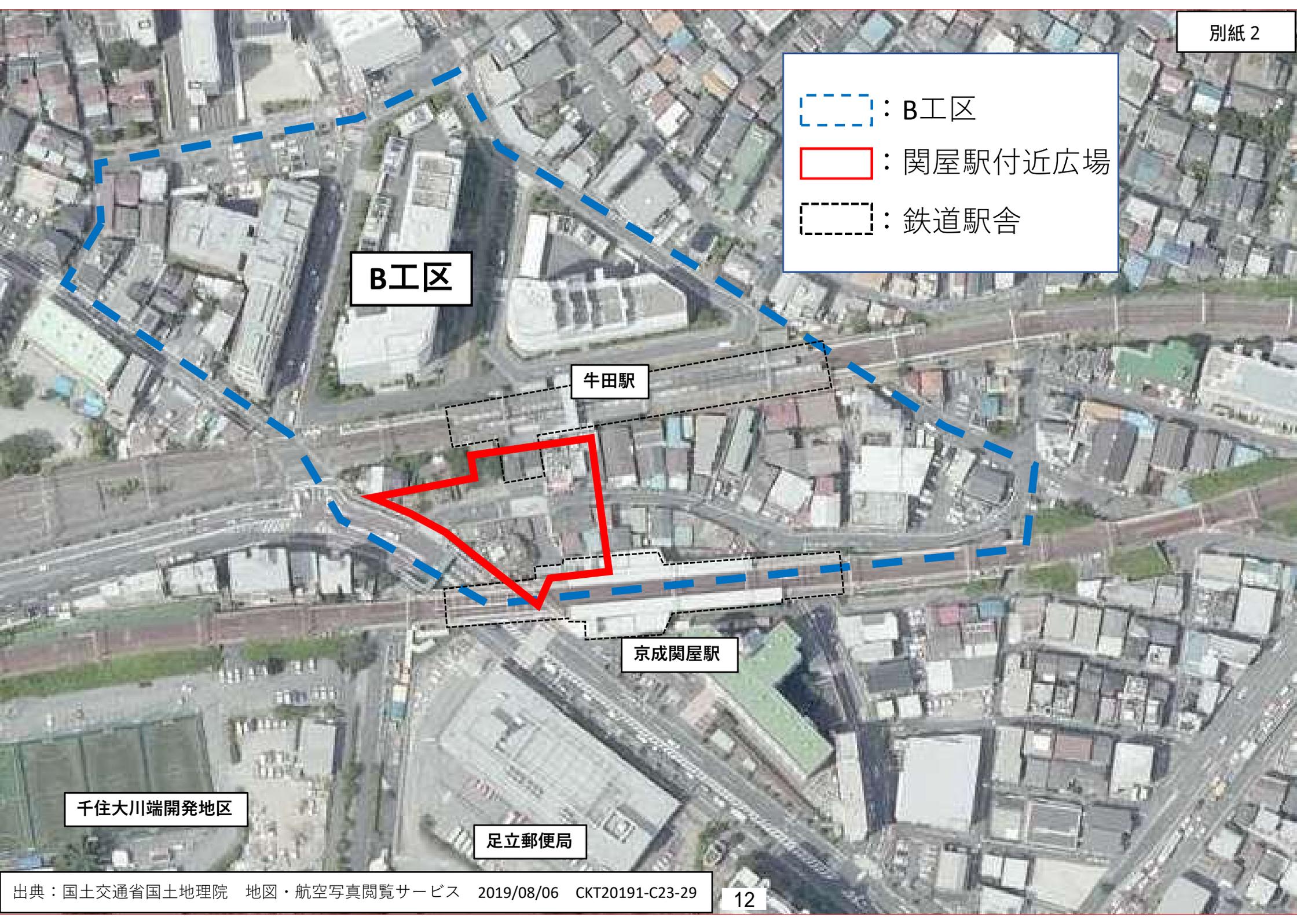
令和3年10月26日（火）【令和3年度 第1回】

令和4年 2月17日（木）【令和3年度 第2回】

令和5年 9月25日（月）【令和5年度 第1回】

千住大川端地区住宅市街地総合整備事業に係る主要工区の状況





-  : B工区
-  : 関屋駅付近広場
-  : 鉄道駅舎

B工区

牛田駅

京成関屋駅

千住大川端開発地区

足立郵便局

千住大川端地区開発位置図

※この計画案は地権者が想定したものであり、確定ではありません。

京成関屋駅

